

恵みとまことに満ちた方

ヨハネ1：14～18

初めにことばがあった。ことばは神と共にともにあった。ことばは神であった。

このお方は・・・「このことばは、人となってわたし達の間に住まわれた。」 14節

神であるお方が人となってわたし達の間に住まわれた。

これ実現したのがクリスマス。



1、神の な愛・・・恵み

【恵み】 カリス（ギリシャ語）

人の側（行いや、能力、善行 等々）に関係なく、神の側の一方的な好意として与えられる祝福。報酬ではない。恵みとは、受けるにふさわしくないものに与えられる、神様の無条件の愛。

*イエス様のたとえばなし（マタイ18章）

莫大な借金を清算できずにいたしもべを、赦した主人の話。

莫大な借金とは何？ しもべとは誰？ 主人とは誰？

あなた方は恵みのゆえに信仰によって救われたので。それは自分自身から出たことでなく、神からの賜物です。 エペソ2：8

返しきれない負債がある。でも自力で返済できると考える人もいる。
この人は、赦しなどいらないと退ける。

2、を照らしだす聖い光・・・まこと

神の聖さに照らされると、自分の自覚に及ばないすべてを照らし、内にあるものを明らかにする。

神の聖さは、状況や環境によって変化するあいまいなものではなく、絶対的で妥協がない。これに照らし出されると、人は責めを覚える。神の民であったイスラエルの人々にとって、その役はモーセの律法だった。

律法によらないでは、私は罪を知る事がなかったでしょう。

律法がむさぼってはならないといわなかったら、私はむさぼりを知らなかったでしょう。 ローマ7：7

神の聖さに触れて初めて気が付く！

「ああ自分って、こんなものだったのか・・・。」

◆イエス様は「まこと」という一ミリも妥協のない正しさによって、私たちの罪を照らし、同時に「恵み」によってその罪すべてを赦すことのできる方。なぜなら罪の責めをすべてイエス様が犠牲を払って負われたから。

律法はモーセによって与えられ、恵みとまことはイエス・キリストによって実現したからである。

【17節】

まことに満ちているイエス様は私たちにも迫る！

それは・・・責めるためではなく、罪に捕らわれて苦しむ私たちに、

罪の赦しを宣言し、そこから解放するため。恵みによって赦すため。

3、まことで 恵みで

姦淫の現場で捕らえた女性（ヨハネ8章）

イエス様「あなたを罪に定めるものはいなかったのですか。」

女性 「主よ。だれもいません」

イエス様「わたしもあなたを罪には定めない。いきなさい。

今からは決して罪を犯してはなりません。」

あなたの恵みが私の目の前にあり、私はあなたの真理のうちを歩きました。 詩篇 26：3